

平成24年度 決算報告

平成24年度決算の概要について

平成24年度の決算の概要は次のとおりです。

- ①補助金収入の帰属収入における割合は年々低下し、平成24年度は10%弱となりました（前年度：11%）。
- ②医療収入は、産業大学病院、若松病院ともに前年度より増収となり、合わせて前年度比11%の増収となりました。一方、薬品費や診療材料等の医療経費支出が前年度比12%の増となりましたが、大学経営の安定度を見るための指標である帰属収支差額比率は、前年度の3%から5ポイント上昇した8%となりました。
- ③事業収入は、継続の受託事業が前年度に比べ増収となりました。全体の受入件数は前年度から増加したものの、受入金額の減少により、前年度比1%減となりました。
- ④雑収入は前年度比26%増で、これは福岡県から東日本大震災支援活動に要した費用を災害救助法の適用により受入れたことによります。

収支計算書類

1. 消費収支計算書

消費収支計算書

平成24年4月1日から
平成25年3月31日まで

（単位：百万円）

収 入 の 部			支 出 の 部				
科 目	平成24年度	平成23年度	備 考	科 目	平成24年度	平成23年度	備 考
学生生徒納付金	3,436	3,328	入学金、授業料等	人 件 費	10,569	10,706	職員基本給、退職手当引当金繰入等
手数料収入	160	134	入学検定料等	教育研究経費	5,618	5,962	研究費、旅費等、減価償却額
寄付金	426	463	企業等からの研究助成金等	医療経費	10,354	9,209	診療材料費、診療諸費、減価償却額
補助金	3,073	3,357	国庫補助金・臨床研修費等補助金等	管理経費	2,411	2,550	消耗品費、業務委託費、営繕費等、減価償却額
資産運用収入	525	442	大学運営基金運用益・職員宿舍利用料等	借入金等利息	12	13	若松病院設置に係る借入金利息
医療収入	22,748	20,416	診療収入	資産処分差額	210	192	固定資産除却損等
事業収入	1,203	1,218	企業等からの受託研究、委託を受けた実習等に係る収入	徴収不能引当金繰入額等	10	11	徴収不能引当金繰入
雑収入	158	126	科研費間接経費等				
帰属収入合計	31,733	29,488					
基本金組入額	△1,363	△1,926					
消費収入の部合計	30,370	27,562		消費支出の部合計	29,186	28,645	
				当年度消費収入超過額	1,184	-	
				当年度消費支出超過額	0	1,082	
				前年度繰越消費支出超過額	8,186	20,294	
				消費支出準備金取崩額	-	13,190	
				翌年度繰越消費支出超過額	7,002	8,186	

（注）百万円未満切り捨て表示のため合計とは必ずしも一致しません。

翌年度繰越消費支出超過額は、*減価償却額の累計額及び**退職手当引当金等の額です。

* 減価償却額 …… 固定資産(機器備品等)の価値は毎年同じ金額だけ減少していくと考え、その減少分を費用計上したものが減価償却額で、それに見合う資金を積み立てているのが減価償却引当特定資産です。

**退職手当引当金…教職員の将来の退職時に支払うべき退職金を負債として考えるもので、学校法人で最も一般的な計算方法は「期末要支給額計上方式」（その決算期末に全教職員が退職するものと仮定して要支給額を計算するものです（平成24年度期末要支給額：7,419百万円）。期末要支給額に見合う資金を積み立てているのが退職手当引当特定預金です。

2. 資金収支計算書

資金収支計算書

平成24年4月 1日から
平成25年3月31日まで

(単位：百万円)

収入の部				支出の部			
科目	平成24年度	平成23年度	備考	科目	平成24年度	平成23年度	備考
学生生徒納付金収入	3,436	3,328	入学金、授業料等	人件費支出	11,227	10,608	職員基本給、退職金等
手数料収入	160	134	入学検定料等	教育研究経費支出	4,662	4,648	研究費、旅費等
寄付金収入	399	433	企業等からの研究助成金等	医療経費支出	9,793	10,620	診療材料費、診療諸費
補助金収入	3,097	3,389	国庫補助金・臨床研修費等補助金	管理経費支出	2,963	6,136	消耗品費、業務委託費、営繕費等
資産運用収入	525	442	大学運営基金運用益、職員宿舍利用料等	借入金等利息支出	12	13	若松病院設置に係る借入金の利息支出
医療収入	22,748	20,416	診療収入	借入金等返済支出(注1)	150	0	若松病院設置に係る借入金の返済支出
事業収入	1,203	1,218	企業等からの受託研究、委託を受けた実習等に係る収入	資産運用支出	3,310	15,740	退職手当引当預金繰入等
雑収入	158	126	科研費間接経費等	その他の支出	4,639	3,580	前期末未払金支出等
前受金収入	68	72	入学金前受金	資金支出調整勘定	△3,782	△4,532	期末未払金
その他の収入	5,592	19,651	前期末未収入金収入、預り金等	次年度繰越支払資金	7,073	7,526	
資金収入調整勘定	△4,867	△4,304	期末未収入金等				
前年度繰越支払資金	7,526	9,431					
合計	40,050	54,342		合計	40,050	54,342	

(注1) 平成23年度返済分の返済期日である平成24年3月31日が休日であったため、平成24年4月2日に返済しました。

同様に、平成24年度返済分の返済期日である平成25年3月31日が休日であったため、平成25年4月1日に返済しました。

(注2) 百万円未満切り捨て表示のため合計とは必ずしも一致しません。

学校法人会計の計算書について(解説)

学校法人会計基準では、「資金収支計算書」、「消費収支計算書」および「貸借対照表」の計算書類を作成することになっています。

- ・資金収支計算書…会計年度の諸活動に対応するすべての収入および支出の内容と支払い資金の収入および支出のてん末を明らかにするもの(簡単に言えば家計簿のようなもので、収入(資金)が何にどのように使われたかということを明確にするために作成します。)
- ・消費収支計算書…会計年度の消費収入と消費支出の内容および均衡の状態を明らかにするもの(企業会計における損益計算書に該当するものといわれており、おおまかには消費収入の合計(帰属収入)から消費支出の合計(いわゆる経費)を差し引いた額が企業会計でいう当期利益にあたる考えられます。)ほとんどが資金収支計算書と同じですが、減価償却額や退職手当引当金繰入額といった実際には資金が動かないものでも経費としてあげておかねばならないものが計上されています。
- ・貸借対照表……会計年度末における資産や負債、正味財産で構成され、法人の財政状態を表しています。表の左側の「資産」が表の右側の「負債」あるいは「基本金」などに対応しています。

また、学校法人会計特有なものとして「基本金」があります。これは「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その帰属収入のうちから組み入れた金額(学校法人会計基準)」で、第1号基本金から第4号基本金までがあります。

- ・第1号基本金…学校法人が取得した固定資産の額
- ・第2号基本金…将来取得する固定資産の取得にあてるため、金銭その他の資産を計画的に積み立てる額
- ・第3号基本金…基金として継続的に保持しながら、その運用によって得た資産を教育研究のために使用することを目的とする運用原資
- ・第4号基本金…恒常的に保持すべき資金として文部科学大臣が定める額(消費支出の1ヶ月分)

本学では第1号基本金の他、第3号基本金と第4号基本金を組入れています。

(参考)「学校法人の決算書の読み方」 赤塚和俊 2001年4月1日発行 株式会社ぎょうせい

3. 貸借対照表

貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部				負債の部			
科目	平成24年度末	平成23年度末	増減	科目	平成24年度末	平成23年度末	増減
固定資産	74,657	73,784	872	固定負債	9,432	10,516	△1,084
有形固定資産	48,741	49,922	△1,181	長期借入金	1,050	1,200	△150
土地	4,951	4,951	0	退職手当引当金	7,453	8,088	△634
建物	37,342	37,852	△510	未払金	928	1,227	△299
構築物	224	311	△87	流動負債	3,351	3,882	△531
教育研究用機器備品	4,172	4,787	△615	短期借入金	300	300	0
その他の機器備品	91	61	30	未払金	2,853	3,304	△451
図書	1,946	1,942	4	国庫返納未払金	23	32	△8
車両	4	6	△1	前受金	68	72	△4
*建設仮勘定	8	7	0	預り金	95	75	19
その他の固定資産	25,916	23,862	2,053	仮受金	10	97	△87
電話加入権	5	5	0	負債の部合計	12,783	14,399	△1,615
ソフトウェア	27	0	26	基本金の部			
施設利用権	0	0	0	科目	平成24年度末	平成23年度末	増減
有価証券	0	0	0	第1号基本金	78,672	77,563	1,109
出資金	14	14	0	第3号基本金	542	536	6
敷金	0	0	0	第4号基本金	2,154	1,907	247
☆収益事業元入金	44	44	0	基本金の部合計	81,369	80,006	1,363
☆長期貸付金	1	3	△1	消費収支差額の部			
☆退職手当引当特定預金	3,149	3,183	△33	科目	平成24年度末	平成23年度末	増減
☆周年記念事業特定預金	67	78	△11	*翌年度繰越消費支出超過額	7,002	8,186	1,184
☆減価償却引当特定資産	8,275	6,520	1,755	消費収支差額の部合計	△7,002	△8,186	1,184
☆住宅貸付資本金特定資産	440	434	0	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計			
☆住宅資金貸付金(特定資産)	1	1	0		87,150	86,218	931
☆職員厚生運用基金特定資産	100	100	0				
☆大学運営基金引当特定資産	13,787	13,474	313				
流動資産	12,492	12,434	58				
現金預金	7,073	7,526	△452				
未収入金	4,702	4,123	579				
有価証券	616	616	0				
薬品	96	90	5				
診療材料	3	1	2				
仮払金	0	75	△75				
資産の部合計	87,150	86,218	931				

(注) 百万円未満切り捨て表示のため合計とは必ずしも一致しません。

*建設仮勘定…建設途中にかかる建物、構築物等の有形固定資産に対する支出額を計上する勘定です。

平成23年度分は共同利用棟や病院西別館等の設備改修等が終了していなかったため平成23年度に支出した額を計上しましたが、平成24年度に工事が終了したので本来の科目(建物、構築物)に振替えました。

平成24年度分は大学病院本館及び女子学生寮の設備改修等にかかる支出額を計上しています。

**消費支出超過となっているのは、退職手当引当金および減価償却に計上している引当必要額のうち、一部しか予算措置されていないため、経費計上額に見合う収入がないことが主な原因です。

(平成24年度末の減価償却累計額の合計額：32,455百万円)

この貸借対照表は、大学の財政状況を表しているんだよ。
左側の「資産」は右側の「負債」や「基本金」などを構成している内容なんだ。



◎△◎
♪★!

第1号基本金に対応しています。

退職手当引当金に対応しています。

第3号基本金に対応して

☆は翌年度繰越消費支出超過額に含まれています。

現金預金に対応しています。

現金預金と有価証券に対応しています。

4. 収益事業会計・損益計算書

収益事業会計は本学の介護施設「虹の丘」の収支です。

今年度は利用者の減少により前年度に比べ減収となり、当期剰余金は1,142千円でした。
これに前期繰越剰余金20,529千円を加えた21,672千円が翌期に繰越となりました。

損 益 計 算 書

平成24年4月 1日から
平成25年3月31日まで

(単位：千円)

損 益 計 算 書			
I. 営業損益の部			
科 目	平成24年度末	平成23年度末	備 考
(営業収益)			
介 護 事 業 収 入	48,746	52,688	介護保険収入、介護料収入等
(営業費用)			
人 件 費	37,948	35,284	職員基本給、諸手当、法定福利費、賃金等
管 理 事 業 費 用	6,155	6,860	消耗品、光熱水費等
介 護 事 業 費 用	3,798	4,393	給食材料費、自動車リース料等
(計)	47,902	46,538	
営業利益	844	6,150	
II. 営業外損益の部			
介 護 事 業 外 収 入	594	994	
経常利益	1,439	7,144	
税引前当期剰余金	1,439	7,144	
法人税、事業税及び地方法人特別税	296	1,416	
当 期 剰 余 金	1,142	5,728	
前 期 繰 越 剰 余 金	20,529	14,801	
繰 越 剰 余 金	21,671	20,529	

(注) 千円未満切り捨て表示のため合計とは必ずしも一致しません。

5. 収益事業会計・貸借対照表

貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部				負債の部			
科 目	平成24年度末	平成23年度末	増減	科 目	平成24年度末	平成23年度末	増減
流動資産	34,571	32,845	1,725	流動負債	3,989	4,295	△305
現金預金	26,706	24,791	1,914	未払金	3,386	2,720	665
未収入金	7,864	8,051	△186	預り金	307	158	148
立替金	0	2	△2	未払法人税等	296	1,416	△1,119
固定資産	40,991	44,698	△3,707	固定負債	5,119	7,937	△2,818
有形固定資産	38,405	41,540	△3,135	長期借入金	1,500	3,000	△1,500
土地	17,876	17,876	0	長期未払金	1,033	1,779	△746
建物	15,272	16,453	△1,181	退職手当引当金	2,586	3,158	△572
構築物	2,322	2,747	△425	負債の部合計	9,109	12,233	△3,124
その他の機器備品	1,155	1,624	△469	純資産の部			
車両運搬具	1,779	2,838	△1,058	科 目	平成24年度末	平成23年度末	増減
その他の固定資産	2,586	3,158	△572	収益事業元入金	44,781	44,781	0
退職手当引当特定預金	2,586	3,158	△572	剰余金	21,671	20,529	1,142
				当期剰余金	1,142	5,728	△4,585
				前期繰越剰余金	20,529	14,801	5,728
				純資産の部合計	66,453	65,311	1,142
資産の部合計	75,562	77,544	△1,981	負債の部及び純資産の部合計	75,562	77,544	△1,981

財 産 目 録

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科 目	摘 要	金 額
一 資産額		
(一)基本財産		
1 土地(校地)	北九州市八幡西区医生ヶ丘他 333,269㎡ 北九州市八幡西区大字浅川 1,199㎡ 北九州市八幡西区光貞台 6,036.07㎡ 北九州市八幡西区星和町 1,133.84㎡ 北九州市八幡西区大浦 5,529.12㎡ 北九州市若松区浜町 12,357.12㎡	4,902,165,016 (4,050,840,002) (8,783,025) (114,534,946) (24,442,421) (105,564,622) (598,000,000)
2 建物	校舎等教育施設 77,203.67㎡ 大学病院施設 55,304.8㎡ 若松病院施設 12,828.01㎡ その他施設 37,069.08㎡	37,342,472,286 (16,654,400,741) (14,244,442,137) (2,215,800,517) (4,227,828,891)
3 構築物	運動場施設 緑化施設 その他施設	224,109,201 (46,279,709) (52,773,110) (125,056,382)
4 図書	教育研究用図書 179,273冊	1,946,393,358
5 教育研究用機器備品	MR撮影装置一式 リニアック治療装置一式 バイブレーション心血管造影検査治療システム 全身用CTスキャナー一式 病院総合医療情報システムサーバー一式(リース) 他14,225点	4,172,084,544 (314,947,500) (290,850,000) (221,856,600) (182,175,000) (490,581,000) (2,671,674,444)
6 その他機器備品	事務系ネットワーク機器一式 他727点	91,816,007
7 ソフトウェア	健診システム他2点	27,023,854
8 車両	乗用車2台、小型貨物車2台、乗合自動車1台、救急車1台	4,934,077
9 建設仮勘定	産業医科大学病院本館及び女子学生寮関係	8,032,500
(二)運用財産		
1 現金預金		7,073,572,640
2 有価証券		617,119,000
3 退職手当引当特定預金		3,149,497,961
4 周年記念事業特定預金		67,597,828
5 職員厚生運用基金特定資産		100,000,000
6 住宅貸付資本金特定資産		440,986,518
7 減価償却引当特定資産		8,275,637,455
8 大学運営基金引当特定資産		13,787,244,788
9 土地	北九州市八幡西区藤原 2,783.28㎡	49,280,197
10 電話加入権	67回線	5,084,012
11 出資金	有限会社 産業医大サービスに対する出資金 株式会社 産業医大ソリューションズに対する出資金 産業医大微生物解析研究開発有限責任事業組合に対する出資金 産業医科大学ヘルスマネジメントシステム有限責任事業組合に対する出資金	14,250,000 (3,350,000) (4,950,000) (2,970,000) (2,980,000)
12 住宅資金貸付金		1,412,500
13 敷金		720,500
14 未収入金		4,702,653,701
医業未収金		(3,689,749,018)
請求留保金		(402,864,664)
受託研究事業費	エコチル調査(環境省)、産業技術研究開発(経済産業省) 他	(88,782,829)
その他		(521,257,190)
15 棚卸資産	薬品 96,344,990円 診療材料 3,557,887円	99,902,877
16 仮払金	受託研究費未入金分仮払他	102,509

(三) 収益事業用財産		
1 土地	収益事業用地 942.09㎡	17,876,240
2 建物	収益事業施設 247.29㎡	15,272,084
3 構築物	収益事業施設	2,322,307
4 その他機器備品	収益事業用機器備品	1,155,250
5 車両運搬具	収益事業用車両	1,779,750
6 現金預金		26,706,161
7 退職手当引当特定預金		2,586,200
8 未収入金		7,864,946
資産額合計		87,179,656,267
二 負債額		
1 固定負債		
(1) 長期借入金	若松病院設置に係る外部調達資金	1,050,000,000
(2) 退職手当引当金	役員・教職員退職手当引当金	7,456,119,990
(3) 未払金	リース資産にかかるリース料残額	929,649,042
2 流動負債		
(1) 短期借入金	長期借入金のうち返済期限が1年以内の借入金	300,000,000
(2) 未払金	退職金、物品購入等代金他	2,857,007,013
物品購入等代金		(1,519,418,149)
未経過リース料		(447,247,710)
退職金支払金		(616,051,068)
その他		(274,290,086)
(3) 国庫返納未払金	一般会計から生じた返納金	23,226,466
(4) 前受金	入学金、授業料、施設設備費、実験実習費他	68,925,900
(5) 預り金	所得税等職員預り金、電話料等公共料金他	95,610,608
(6) 仮受金	診療費仮受他	10,115,478
(7) 未払法人税等(収益事業)		296,800
負債額合計		12,790,951,297
三 正味財産		74,388,704,970

平成24年度 決算書からの主要財務比率表

	比率	算式 (×100)	24年度	23年度	22年度	解説	評価	私医大平均
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	33.31%	36.31%	31.25%	人件費の帰属収入に対する割合を示す重要な比率である。低いほうがよい。	▼	42.5%
2	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	50.33%	51.45%	47.79%	教育研究経費（医療経費を含む）の帰属収入に対する割合を示し、教育、医療の諸活動の維持、発展のため高いほうが望ましい。ただし、著しく高い場合は消費収支バランスを崩す要因となる。	△	47.7%
3	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	7.60%	8.65%	7.56%	法人維持、運営のため経費支出は必要不可欠であるが、低いほうが望ましい。	▼	3.5%
4	学生生徒納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{帰属収入}}$	10.83%	11.29%	10.84%	本学の帰属収入の主な収入、医療収入、学生生徒納付金、補助金収入等であるが、この比率は安定的に推移することが望ましい。	▼	6.4%
5	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	9.69%	11.39%	11.86%	補助金は本学の収入の主要な財源であり比率は高い方が望ましいが、外部の影響を受けやすく経営に弾力性を失う恐れがある。	△	5.3%
6	消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	91.97%	97.14%	86.95%	経常費用が帰属収入でまかなわれているかどうかを示す重要な指標です。長期的にこの比率が上昇してきているのであれば、財政がひっ迫しつつあることを示す危険な兆候です。	▼	94.6%
7	帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	8.03%	2.86%	13.05%	この比率は収支状況を見る最も基本的なものであり、プラスが大きいほど自己資本が充実することになるため高いほうが望ましい。10%以上を望ましい数値と設定されている。	△	5.4%
8	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	4.30%	6.53%	3.92%	当該年度の帰属収入から基本金に組入れた比率を表します。高額な設備投資は基本金組入額が高くなり、消費収支差額が支出超過になることがあり注意が必要です。	△	4.5%
9	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	100.39%	102.74%	98.82%	固定資産が外部負債に頼らず取得されているかを示す割合です。土地、建物等の固定資産にどの程度自己資金が投入されているかを示します。	▼	104.5%
10	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	372.79%	320.23%	431.09%	流動負債に対する流動資産の割合です。一年以内に償還又は支払わなければならない流動負債に対し、流動資産（現金預金）がどれだけ準備されているかを示します。一般的に200%を超えると優良とみなされます。	△	245.9%
11	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	14.67%	16.70%	15.60%	総負債（固定+流動）の総資産に対する割合です。この比率は低いほどよく100%を超えると負債総額が資産総額を上回る状態となり、債務超過となります。	▼	28.0%
12	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	17.19%	20.05%	18.48%	他人資金と自己資金との割合です。他人資金が自己資金を上回っていないかどうかを示す指標で100%以下が望ましい。	▼	38.1%
13	自己資金構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資産}}$	85.33%	83.30%	84.40%	自己資産が総資産に比ベどのくらいあるかを表す比率です。この比率は高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資本を上回っていることを示します。	△	85.9%
14	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入}}$	96.95%	96.57%	100.00%	基本金要組入額の割合を示し、未組入額は借入金、未払金をもって資産を取得していることを表し100%に近い方が望ましい。	△	97.3%

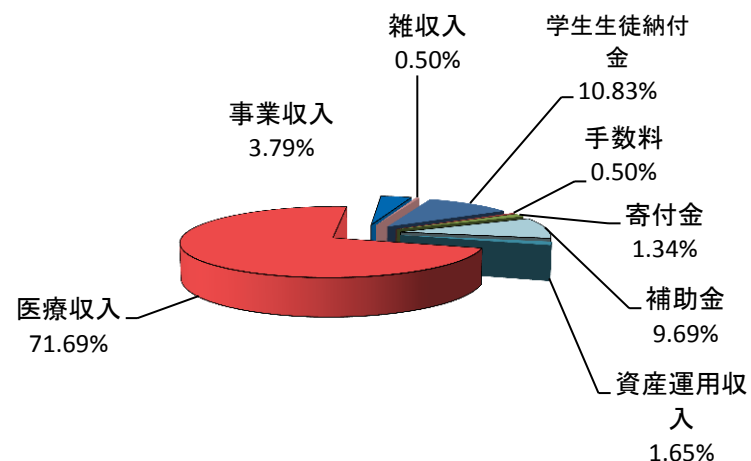
※自己資金：基本金+消費収支差額

資金収支計算書

単位(百万円)

収 入			支 出		
科目	決算	対予算	科目	決算	対予算
学生生徒納付金	3,436	24	人件費支出	11,227	255
手数料収入	160	△ 31	教育研究経費支出	4,662	258
寄付金収入	399	51	医療支出	9,793	980
補助金収入	3,097	6	管理経費支出	2,963	526
資産運用収入	525	△ 119	借入金等利息支出	12	0
医療収入	22,748	15	借入金等返済支出	150	0
事業収入	1,203	△ 173	資産運用支出	3,310	△ 342
雑収入	158	△ 36	その他の支出	4,639	△ 2,806
前受金収入	68	△ 6	資金支出調整勘定	△ 3,782	1,613
その他の収入	5,592	158			
資金収入調整勘定	△ 4,867	850			
前年度繰越支払資金	7,526		次年度繰越支払資金	7,073	△ 4,045
収入の部合計	40,050	△ 3,559	支出の部合計	40,050	△ 3,559

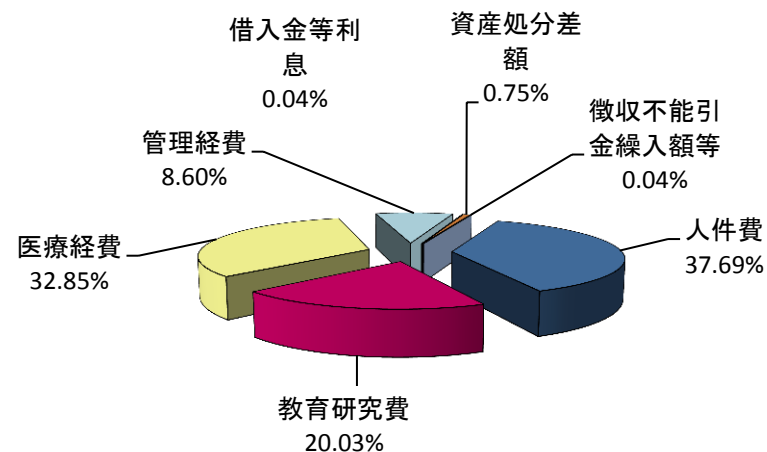
平成24年度 決算構成比率 消費収入



消費収支計算書

収 入			支 出		
科目	決算	対予算	科目	決算	対予算
学生生徒納付金	3,436	24	人件費	10,569	657
手数料	160	△ 31	教育研究経費	5,618	3461
寄付金	426	24	医療経費	9,211	457
補助金	3,073	29	管理経費	2,411	725
資産運用収入	525	△ 119	借入金等利息	12	0
医療収入	22,748	15	資産処分差額	210	△ 109
事業収入	1,203	△ 18	徴収不能引当金繰入額等	10	△ 6
雑収入	158	△ 36			
帰属収入合計	31,733	△ 111	消費支出の部合計	29,186	2,570
基本金組入額合計	△ 1,363		当年度消費収入超過額	1,184	
消費収入の部合計	30,370		前年度繰越消費支出超過額	8,186	
			翌年度繰越消費支出超過額	7,002	

消費支出



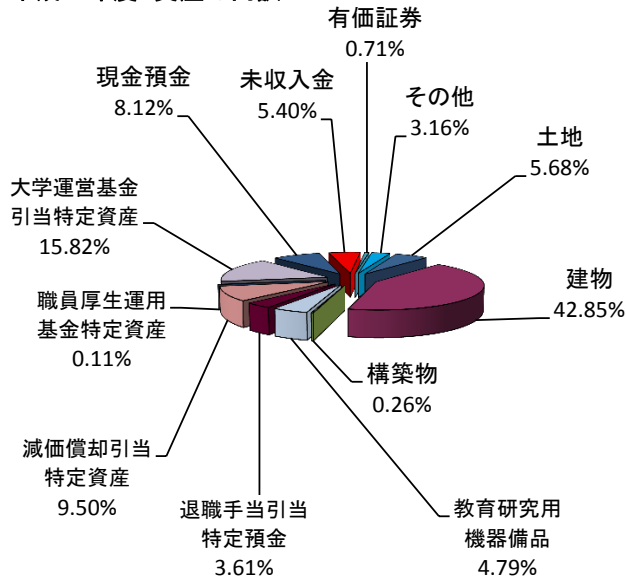
貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位：円)

資産の部	
科目	本年度末
土地	4,951,445,213
建築物	37,342,472,286
構築物	224,109,201
教育研究用機器備品	4,172,084,544
その他の機器備品	91,816,007
図書	1,946,393,358
車両	4,934,077
建設仮勘定	8,032,500
電話加入権	5,084,012
ソフトウェア	27,023,854
施設利用権	0
有価証券	600,000
出資金	14,250,000
敷金	720,500
収益事業元入金	44,781,867
長期貸付金	1,500,000
退職手当引当特定預金	3,149,497,961
周年記念事業特定預金	67,597,828
減価償却引当特定資産	8,275,637,455
住宅貸付資本金特定資産	440,986,518
住宅資金貸付金(特定資産)	1,412,500
職員厚生運用基金特定資産	100,000,000
大学運営基金引当特定資産	13,787,244,788
現金預金	7,073,572,640
未収入金	4,702,653,701
有価証券	616,519,000
薬品	96,344,990
診療材料	3,557,887
仮払金	102,509
資産の部合	87,150,375,196
負債の部	
科目	本年度末
長期借入金	1,050,000,000
退職手当引当金	7,453,533,790
未払金	928,615,842
短期借入金	300,000,000
未払金	2,853,620,927
国庫返納未払金	23,226,466
前受金	68,925,900
預り金	95,303,598
仮受金	10,115,478
負債の部合	12,783,342,001
基本金の部	
科目	本年度末
第1号基本	78,672,911,136
第3号基本	542,399,018
第4号基本	2,154,000,000
基本金の部	81,369,310,154
消費収支差額の部	
科目	本年度末
翌年度繰越消費支出超過額	7,002,276,959
消費収支差額の部合計	△7,002,276,959
科目	本年度末
負債の部、基本金の部及び消費収支	87,150,375,196

平成24年度 資産の内訳



平成24年度 負債の内訳

